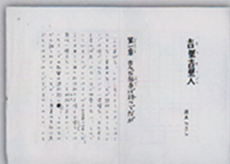


# 井上ひさし展 - 21世紀の君たちに -

井上ひさし作品の大きな魅力のひとつは、主人公たちが未来へ向かう姿です。政府に愛想をつかした東北の一農村の独立運動を描いた「吉里吉里人」、子どもたちの漂流記「ひよっこりひょうたん島」(山元浩久との共作)。過酷な状況にありながら、笑いを忘れず、仲間と共に理想郷(ユートピア)を追い求める主人公たちの姿は、現代の私たちに、困難に立ち向かうための希望を与えてくれます。

没後3年に開催する本展では、第1部で作家となるまでの歩みをたどり、第2部では21世紀へのメッセージを、「吉里吉里人」「きらめく星座」などの作品に読み解きます。第3部では、書物に遺された過去を物語に再生し、同時代、そして未来の人たちへ手渡す「中継者」としての創作活動を、読書や創作メモ、愛用の文具などで展示します。



「吉里吉里人」原稿「終末から」小説新葉に断片的に連載後、1981年新潮社から刊行、日本SF大賞、読売文学賞小説賞を受賞。仙台文学館蔵



愛用の万年筆とインク瓶、眼鏡



「父と暮せば」執筆のころの書き置き帳。広島で結婚した人たちの手記から、若い娘が「ここをなれないね」と友を励ます様子を書き残した部分。執筆にあたり多数の手記を読んだ。

表面背景紙版＝井上ひさし自筆「吉里吉里人地図」(部分) 神奈川近代文学館蔵

次回展示 6月15日(土)～8月4日(日) 企画展『「中原中也の手紙」展－安原喜弘へ』

- 記念イベント 展示室2階ホール (各日定員 220名)  
各日開演 14:00 (開場 13:30)
- ① 4月27日(土) Lコード＝35671  
対談「ひさしさんと23年」  
出演：井上ユリ(井上ひさしの妹)、松山薫(小説家、評論家)
  - ② 5月4日(土)・祝、5日(日)・祝 Lコード＝35672  
井上ひさし最愛の映画「ブルーノの巻」上映会  
1991年 イタリヤ 監督 ライオン・オッダ・シーク 映画館
  - ③ 5月19日(日) Lコード＝35673  
講演会「ユートピア」と井上ひさし文学」  
出演：小森潤一(東洋大学文学部准教授)
  - ④ 5月26日(日) Lコード＝35674  
講演会「評伝と音楽劇」  
出演：藤田昭孝(音楽評論家)
  - ⑤ 6月1日(土) Lコード＝35675  
朗読会「言語生活」ほか  
出演：辻真義(作家)
- 料金は3区3歳～一般1,000円/小学生～一般800円  
ユートピアは、東京ミュージアムショップ窓口(東京)またはローソクチケット(Lコード)、郵便振替で販売。  
10:00～チケットと朗読会の抽選券は各自必ず各自の会場まで、各自もちり次品販売を終了します。詳細はお問い合わせ下さい。

本展ギャラリートーク 展示室1階エントランスホール  
会期中の毎週金曜日 14:00～ 無料 (要予約)

横浜・山手 湖の見える丘公園内  
神奈川近代文学館  
◆交通案内◆  
＜東急東横線横溝・みなとみらい線＞  
元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分  
＜バス＞いずれも「湖の見える丘公園」下車、徒歩3分  
神奈川中央交通バス：桜木町駅～桜木上ヶ丘駅  
都営地下鉄有楽町線：山手駅～山下町駅  
横浜バス：山手駅～「あかてつ」、桜木町駅～湖の見える丘公園(中華街・元町ルート)

＜JR横溝線＞  
石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分



◎駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用下さい。

## 井上ひさしの本

ニッポン独立を目指す 慧眼の『目録』  
『ニッポン独立を目指す 慧眼の『目録』』  
『ニッポン独立を目指す 慧眼の『目録』』  
『ニッポン独立を目指す 慧眼の『目録』』

## あとにつづくものを信じて走れ! 組曲虐殺

井上ひさし  
あつげられた人々のために生きた作家・小林多喜二の生涯を綴った伝記。笑いと涙の中に、多喜二とその周囲の人々が陥れる苦しみや争いが浮き上がる。多喜二の死の先に希望は見えただろうか? —著者、最後の傑作戯曲。  
定価 1260円(新書ソフト)  
集英社 〒101-8050 東京都千代田区神田神保町3-13-1  
TEL 03-3230-6100

## 『言語小説集』

定価1395円(税込)

- 「井上ひさし全芝居」(全7冊)
- 「日本語教室」(新装版) / 定価740円(税込)
- 「一週間」(新装版) 3月28日発売(予定)

## ボローニヤ 紀行

井上ひさし  
ファンタジーといひ、市民が作る手で築き上げた理想の島、ボローニヤ。愛を語った著者は、真の意中「先生」について悪意を認めず、豊かな文壇的メッセー...